

守るチカラ

石嶺村政のむらづくりを引き継ぎ
暮らしと文化と自然を守る

変える勇氣

子ども子育て孫育て支援

経済振興で地元を元気に！

村民が主役の株式会社読谷村

ナ カ ソ ン ネ

ともはる

朝治



役場の代表でも議会の代表でもなく、
皆さんの代表として
“村民が主役”のむらづくりを目指します

内部資料

はいさい ぐすーよー ちゅううがなびら。

私は昔から、村民や読谷村で働く人は、皆さんがこの地域の家族であると思ってきました。

その家族である皆さんと読谷村の未来を一緒につくりたい、その一心で政治家を目指すことを決意しました。

若い頃、旅行会社の添乗員として、たくさんの読谷村民の方と「旅行」という特別な時間の中でふれあいました。約23年間、子どもからオジイオバアまで、普段は聞けないようなお話をたくさん聞かせていただきました。良いことも悪いことも聞きましたが、皆さんに共通する思いは、読谷が好き、子や孫が大事、家族が大事ということ。

勤めていた旅行会社の倒産を経験した後、「これからの20年は地域のために働こう」と考え、商工会主催のむらおこし塾3期生を中心に、地域の皆さんとともにFMよみたんを設立しました。たくさんの方に支えられたFMよみたんでの17年間、ラジオ局の代表として、さらに多様な方々のお話に耳を傾けてきました。役場や議会には届きにくい小さな声、声なき声ともたくさん出会いました。そういった声をなんとか届けようと、ラジオ局として努力してきました。

そして商工会長としての6年間。いかにして村民の声を役場や議会に届けるかに取り組みつつ、村内企業の成長・発展、人材育成に取り組みました。

2期目にはPFI、ゆんラボ・未来館を地元企業で作るために奔走しました。地元読谷への思いが集まり、県外の大手企業に負けない実績を地元企業を中心に作り上げました。

ゆんラボ・未来館を沢山の方々が幸せそうに利用されている姿を、心から嬉しく思っています。

行政(役場)を株式会社読谷村として考えてみてください。株主は村民の皆さん全員です。一人も除外されることなく、村民全員が読谷村の経営に関わることができるはずです。その皆さんの代表として、皆さんの幸せな未来のために経営努力を重ねる。村長という仕事は株式会社読谷村の代表取締役だと思っています。

役場の代表でも議会の代表でもなく、村民の皆さんの代表として、村民主義の政治、村民が主役となるむらづくりを目指してまいります。

村民は私達の家族であり、未来を担う子や孫に、読谷村を心から誇れる村として受け継いでいくため、私は株式会社読谷村の代表取締役村長に立候補したいと思っています。

ぜひ皆さんの声を聴かせてください。

子や孫たちのために、一緒に「協働のむらづくり」をしましょう。

仲宗根 朝治



ナカノネ朝治の これまでとこれから



1965年
読谷生まれ

古堅小
↓
読谷小

古堅中

読谷高校

国際観光
学院



子どもからオジイオバアまで、
世代を超えてたくさんの村民とふれあう

旅行会社
添乗員
23年間

これからの20年は地域のために働こう!!



大きな声も小さな声も、
あらゆる村民の声に耳を傾ける

FMよみたん
17年間

心から誇れる村として子や孫に引き継ごう!!



地元企業を牽引し
ゆんラボ・未来館を
成功に導く

商工会長
6年間

村民は家族! 家族全員の声をめざす!!

誰よりも村民の話を聞いてきたからこそ、
役場の代表でも議会の代表でもなく、皆さんの代表として
村民が主役のめざすを目指します

ナカソネ朝治の政策の柱

守るチカラ

石嶺村政のむらづくりを引き継ぎ、豊かな読谷を守る！

1▶ 村民の暮らしを守る

教育・子育て

交通・社会基盤

病院誘致

医療・防災

高齢者福祉

経済・観光

ほか

2▶ 村の豊かな文化を守る

地域コミュニティ

地域文化の継承・発展

平和むらづくりの推進

男女共同参画・人権尊重の推進

ほか

3▶ 村の豊かな自然を守る

自然環境の保全・活用

公園・緑地の整備・保全

軍用地跡地利用の推進

循環型むらづくりの推進

ほか

ナカソネ朝治は実行力！
財源を作り、政策を実行します！

変える勇氣

経済振興で財源創出！村民の暮らしをもっと豊かに！

1 子ども・子育て孫育て支援

手厚く幅広い支援や安心できる環境づくりなど
これまでできなかった「できたらいいな」を実現

2 経済振興で地元を元気に

民間活用、官民連携を推進
村内で循環するお金を増やします

3 村民が主役の株式会社読谷村

村民は株主でお客さま
村民が主役のむらづくりを推進



次のページで
もっと詳しく！





子ども・子育て孫育て支援

POINT

1

給食費無償化の実施・医療費無償化

小学生の給食費の完全無償化を実現します。医療費の無償化を高校生まで拡充します。

POINT

2

安全安心な子育ての場所づくり

新たな子育てスポットとして人気のゆんラボ・未来館は、朝10時から夜22時まで様々な形で子どもや孫と楽しい時間を共有できる場所として喜ばれています。このゆんラボ・未来館のサービスの拡充（例えば託児機能）や施設の拡張、または第2のゆんラボ・未来館の設置なども含め、安全安心な子育ての場所の拡充について、民間ノウハウも取り入れながら柔軟に検討していきます

POINT

3

子どもの居場所づくり（教育）

ゆんラボ・未来館には日々多くの子どもたちが集まっています。大人の目が届く安全安心な場所で、子どもたちは読書をしたり勉強したり遊んだりしながらのびのびと過ごしています。

このゆんラボ・未来館のサービスの拡充や施設の拡張、または第2のゆんラボ・未来館の設置なども含め、安心安全な子どもの居場所の拡充について、民間ノウハウも取り入れながら柔軟に検討していきます。

POINT

4

学力・人間力の向上（教育）

ゆんラボ・未来館を拠点とし、学校外教育の拡充を図ります。県外の同様の事例では地域の学力が向上したケースも報告されています。

例えば、科学に興味のある子どもたちが継続的に学べるOIST科学クラブの創設を目玉事業として推進します。読谷からノーベル賞受賞者を育てましょう！

ふるさと教育クラスや本を活かした取り組み、民間の企業家の皆さんからの学びなどにも期待が持てます。多様な人々が交流する場としての機能も強化し、子どもたちの人間力の向上も図っていきます。

各学校とゆんラボ・未来館の連携も強化し、より多様な教育の形を支援します。

手厚く幅広い支援や安心できる環境づくりなど
みんなの「できたらいいな」を実現

沖縄初の民営図書館
(読谷村立図書館)
民間ノウハウで充実!



安全安心な子育て環境をもっと増やす!





子ども・子育て孫育て支援

POINT

5

保護者の時間づくり

子育てにおける親子の時間、孫との時間づくりを支援します。

働き方改革推進のため、村独自の認定を付与、勉強会を開催、支援や優遇措置を設けるなどの施策を検討していきます。

「おむつサブスク」による負担減等の他の施策と合わせて、子どもとゆっくり向き合える時間が増えることが期待されます。

POINT

6

おむつサブスク（無償提供）

県外では広く浸透しつつある、いわゆる「おむつサブスク」の導入を推進します。例えば、村内保育施設に子どもが通う場合、保護者はおむつを持参する必要がなくなります。施設・保育士側もおむつの管理の負担が軽減されます。

先進的な事例では、おしりふき、ミルク、着替え、タオル、寝具などもサブスクで施設に届けられ、保護者の負担がさらに大幅に軽減されているケースもあります。

POINT

7

潜在保育士の活躍の場づくり

保育士支援については石嶺村政の流れを引き継ぎ取り組んでいくとともに、新たな取組として、保育士の多様な働き方が受け入れられる環境づくりを推進します。

既存の環境だけでは満たしきれない潜在保育士の働きたいニーズに対し、子育て世代側のニーズとのマッチングを推進します。

保育施設以外に求められる子育て支援の場（託児所等）についても積極的に検討していきます。

POINT

8

妊産婦・産後ママケアの充実

官民連携も模索し、妊産婦さんや産後ママさんが子どもと一緒に安心して過ごせる居場所づくりに取り組みます。

POINT

9

子ども医療の充実（病児・病後児保育）

官民連携も模索し、病児・病後児保育の充実を図ります。同時に、小児科や耳鼻咽喉科の誘致に努めます。

POINT

10

小児発達支援センターの整備

子どもの発達に不安を抱えている親が安心して相談できる場所、適切な支援を提供する場所の整備を目指します。

手厚く幅広い支援や安心できる環境づくりなど みんなの「できたらいいな」を実現

子ども子育て孫育ての充実・・・

今のままでは 財源不足 → 必要なことができない！

既存予算の見直し
(最適化)

村の稼ぐチカラ向上
(新たな財源)

官民連携でコスパ向上
(ゼブラ企業)

民間の稼ぐチカラ向上
(地域還元)

財源創出！

政策を実行！

保護者負担軽減

“おむつサブスク”

保育士負担軽減

病児・病後児ケア

小児発達支援

妊産婦・産後ママケア

安心できる場所をつくる！！



2 経済振興で地元を元気に

POINT

1

産業振興：商工業の「稼ぐチカラ」を支援

第1次産業（農業・漁業）についてはこれまでの投資を総括し、「稼ぐチカラ」を向上します。

たくさんの課題を抱える商工業については、新たな取り組みで「稼ぐチカラ」を向上します。

例えば、村内事業者同士がお互いに仕事を受託できるマッチングの仕組みを作ることで、村内事業者の売上を向上し、村内で循環するお金を増やします。

例えば、ゆんらボの事業のように、村内事業者がチームを組んで事業に取り組む手法や、優れた村外企業のノウハウを地元企業が活用する手法が考えられます。

※読谷村は地域経済循環率が55.9%(2018)とかなり低い状態にあり、村内でお金が回っていない(=お金が村外に逃げていく)状態にあります。

村内で回るお金が増えると、村民の所得も増えることが期待されます。

POINT

2

公共事業・公共投資を通じた地元企業の育成

公共事業等の情報共有の方法や公募のあり方を改善し、地元企業が地元の事業に適切に参画するチャンスを作ります。

地元企業・人材の育成についても、村商工会等と連携して取り組みます。

賛否の分かれている村立小学校建て替え事業のPFI活用についても、方向性の見直しも含め慎重に検討します。

POINT

3

渋滞問題への取り組み

渋滞の問題は、村民生活だけでなく、経済にも大きな影響を及ぼします。

国道58号バイパスや嘉手納弾薬庫横断・東西連携道路等については、実現に向けて国や関係機関への要請を積極的に行っていきます。

中央残波線の延伸や県道6号バイパスの早期実現によりトリステーション前の渋滞の解決を図ります。

また、渋滞の大きな要因となっている村外への通勤者が減るような取り組みも検討します（詳しくは「村内雇用状況の改善」に記載）。

■「民間活用」・「官民連携」で新たな財源を創出

■村内で循環するお金を増やして村民の暮らしをもっと豊かに

ゆんラボの事業を地元で成功させた仕組み

- ・地元企業主体のチーム作り
- ・村外大手企業のノウハウ活用
- ・県外大手企業に負けないチカラ

地元企業
地元企業
地元企業
地元企業
地元企業
村外有力企業
県外有力企業

地元5社
村外2社

ゆんラボ・未来館

10月の実績

- ・来館者約84,000人
(前年の7.4倍*推定)
- ・本の貸し出し約29,000冊
(前年の5.7倍)
- ・利用者満足度89%

読谷にしかない
このノウハウを広げる!

地元事業者挑戦と成長のチャンス!

”稼ぐチカラ”

暮らしをもっと豊かに!



2 経済振興で地元を元気に

POINT 4 民間企業の活用と官民連携の促進

💡 官民連携セクションの創設（出島政策）

民間企業と役場のコミュニケーションを円滑に行うためのワンストップ窓口として、官民連携セクションを創設します。これにより民間の良いアイデアやノウハウをむらづくりに活かすことができます。

💡 ゼブラ企業の創出・育成

ゼブラ企業とは、**社会課題解決と経済成長の両立を目指す企業**のことを言い、数年前から国も推進や育成に力を入れ始めています。

村独自の認定制度や勉強会の開催、支援、投資、優遇措置などで、地域のゼブラ企業を創出・育成していきます。

POINT 5 村内雇用状況の改善

就業者数約15,000人(2020)のうち、約8,000人(2022)が村外に働きに出ています。企業誘致の取り組みも含め、**村内に魅力的な労働環境を増やしていくこと**や、サテライトオフィスやテレワーク等による労働環境の多様化を支援すること、同時に人材育成に取り組むことなどを通して、村内で働ける人を増やします。**家族の近くで働ける**ことは、子育ての面からも、(いざという時に近くにいるという意味で)防災の面からもメリットがあります。

POINT 6 伝統芸能・工芸、歴史、文化、自然環境等の再評価

「読谷のホンモノ」が世界により正当に評価されるように、民間のノウハウも活用しながらブランディングやマーケティングに力を入れていきます。

POINT 7 民間投資の増加

民間企業のネットワークを活用し、村内への投資を誘致し村内経済を活性化します。読谷村の歴史や文化、自然環境等を尊重した適切な投資を増加させることを目的とし、新たにガイドラインを設けます。

POINT 8 村有資産の資産価値向上（村有遊休地の利活用）

眠っている村有資産（土地や建物）の資産価値を再評価し、より適正な価値で利活用することで村に新たな財源を創出します。

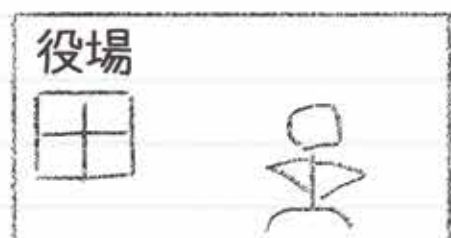
POINT 9 成果連動型手法の導入（民間委託事業）

民間企業に公共事業を委託する際に、成果に応じて支払いが増える手法を導入することで、民間企業の活力をより引き出す仕組みを作ります。

■「民間活用」・「官民連携」で新たな財源を創出

■村内で循環するお金を増やして村民の暮らしをもっと豊かに

地元企業が活躍しやすい環境を作る！



今までは
距離を感じていた...



これからは...
一緒に地域を良くしましょう！

地元企業が成長すれば地域に還元できる！

事例

～ゆんラボの民間事業を担当～
株式会社飛翔の風※

利益の43%を地域に還元
(よみたんの43)

ナカソネ朝治が
取締役を務める会社

地域内で回るお金を増やす



暮らしをもっと豊かに！



読谷村総合健康福祉センター(仮称)の
整備検討



民間活力を活用した
赤犬子展望広場計画の実現

3 村民が主役の株式会社読谷村

POINT 1 あらゆる村民の声が村長に届く仕組みづくり

一般村民にとって、議会や役場、村長といえどもどうしても距離を感じてしまうもの。ナカソネ朝治は一般村民の代表として、いつまでも身近な存在でありたいと考えています。

例えばLINEなどのデジタルツールを活用して村民の生の声を集める仕組み。
例えば株主(村民)なら誰でも参加できる「株主総会」での意見交換。例えば特別な組織を持たない小さな取り組みや業界の皆さんの意見を直接受け止める場作り。
添乗員時代やラジオ局時代と同じように、皆さんの声に耳を傾けます。
いまこそ「ゆんたんじゃ出番ですよ!」。村民の皆さんの出番です。
村民の皆さんが主役となるむらづくりを目指していきます。

POINT 2 ラジオ番組のようにわかりやすい政治

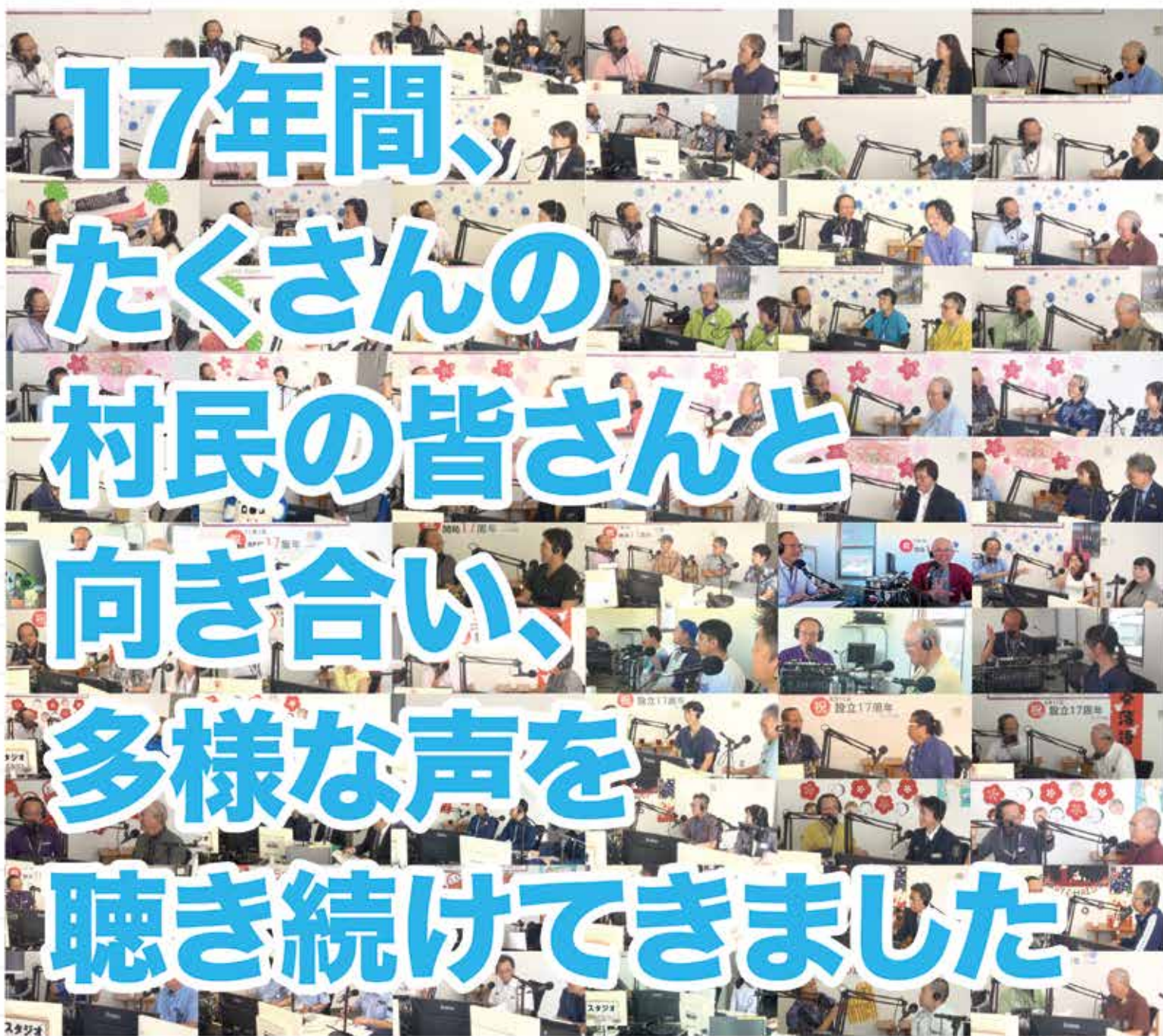
政治というと、一般村民にとってはなんだか難しいイメージ。。。
議会で話し合われている問題をもっとわかりやすく皆さんに届けます。
役場のお仕事の見える化にも取り組みます。

情報発信や双方向の情報共有をよりわかりやすい形で増やしていき、それによってむらづくりに参加する村民が増えることを目指していきます。
村長がDJのラジオ番組を作りましょう。村民の声を紹介、その場で答えます。
区長の皆さんもゲストに呼んで、地域の課題や読谷の未来を語り合いましょう。

POINT 3 カッコいいシニア世代のライフスタイルを応援

読谷村には、いくつになっても元気いっぱいのかっこいい先輩方がたくさんいます。
アクティブなシニア世代がより活発に活動、活躍する場を支援していきます。
例えば、ゆんラボ未来館で村民講座を作りましょう。村民が村民に教える場です。
例えば、地域の社会課題について話し合っていただく場を作りましょう。
先輩方の知恵も借りながら、地域課題の解決を共に考えていきたいと思っています。
ぜひこれからも力を貸してください。

- 全村民が株主である株式会社として読谷村を見つめ直す
- 「村民＝お客さま」サービス業としての役場サービス



これからも!!

子どもからオジイオバアまで、
あらゆる声を聴き続ける!

”村民が主役!”

3 村民が主役の株式会社読谷村

POINT 4 より便利な読谷村役場

役場の仕事の見える化・効率化を民間経営感覚を取り入れて進めていきます。例えばスマホひとつで役場での手続きが完了、職員の業務負担が減り、スマホに慣れていない方への対応は対面でより丁寧に行えるようになります。
「役場だから仕方ない」と思わずにどんどんご意見をください。読谷村も進化していきます。

POINT 5 顧客(村民)満足度を意識した役場サービス

民間企業がお客さまの満足度向上に努めるのと同様、役場サービスの質の向上を図ります。
従来の縦型組織の仕組みに拠らない、部署の壁を超えたプロジェクトチーム制の導入などにも取り組んでいきます。コロナ推進室がそうであったように、例えば子ども子育て孫育てに特化するなど、目的特化型のチーム組成が課題解決のスピードを早めます。

POINT 6 従業員(役場職員)の働き方・満足度向上

村民の皆さんにサービスを適用する従業員(役場職員)の働き方改革も重要です。ハラスメントをなくし、風通しの良い組織を目指します。モチベーションの高い職員にはスキルアップやチャレンジの機会を、能力や成果を示した職員にはより適したポジションを。職場環境を改善することで、役場サービスの質の向上も目指します。

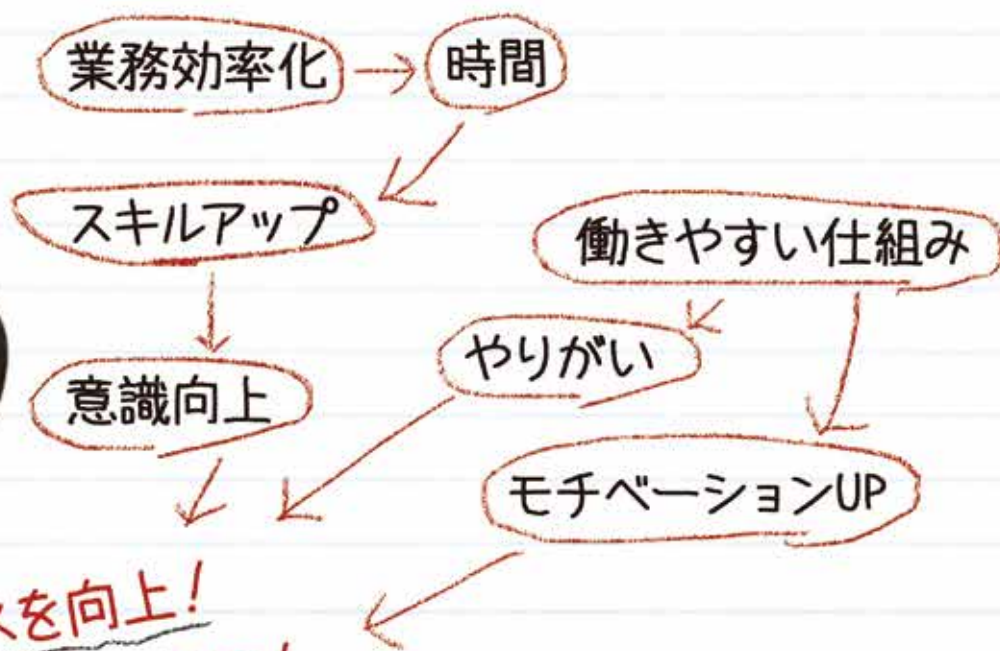
POINT 7 政策達成度チェック

事前に設定された目標に対し定期的に達成度をチェックすることは民間企業では当然のことです。役場の予算の使い道を結果も踏まえて適切に検証します。また、ここで掲げた数々の政策についてもしっかりと検証し、株主(村民)の皆さんに「株主総会」でご報告します。

- 全村民が株主である株式会社として読谷村を見つめ直す
- 「村民＝お客さま」 サービス業としての役場サービス



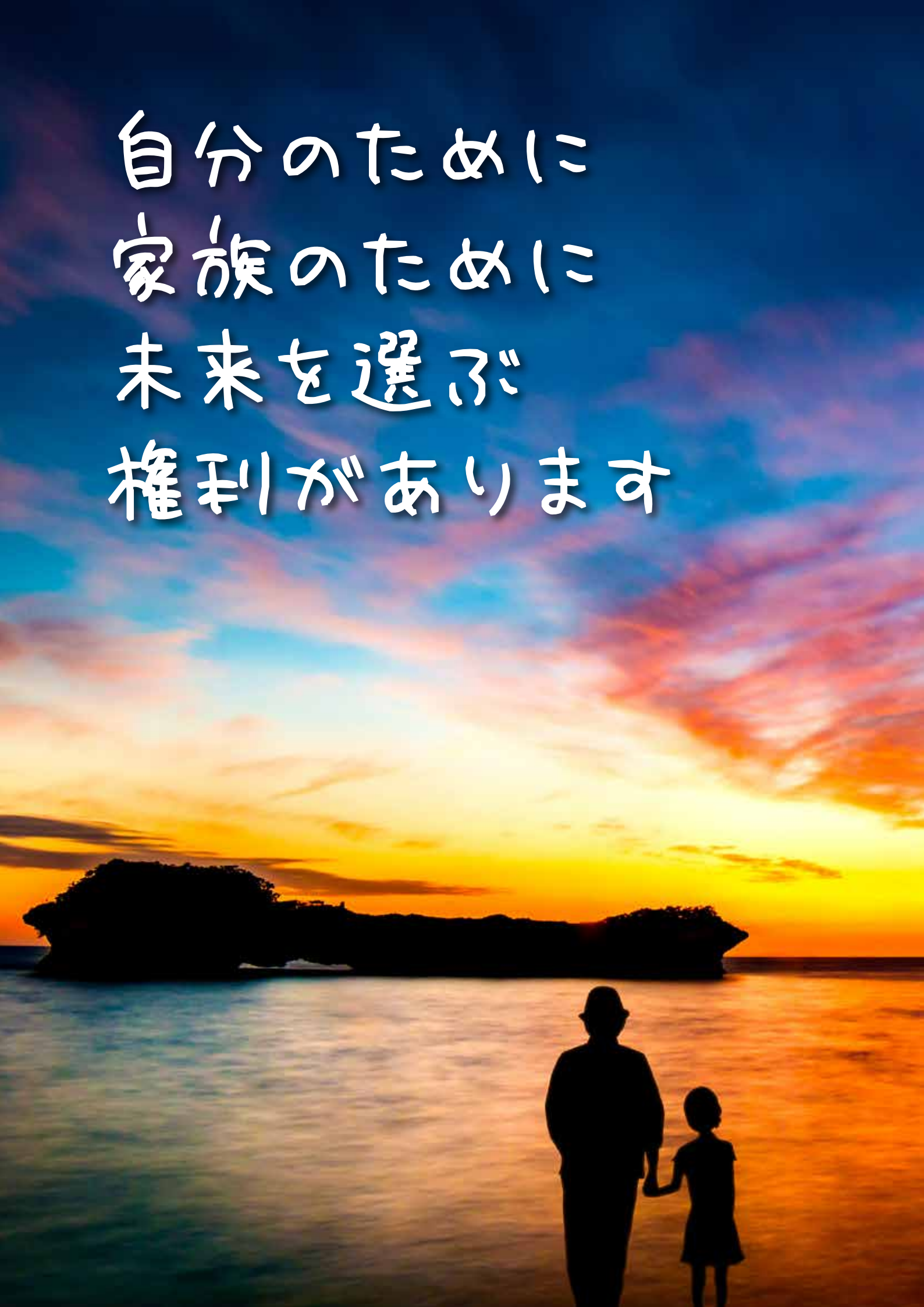
民間企業		役場
顧客サービス		村民サービス
顧客満足度		村民満足度
従業員		職員



村民へのサービスを向上!
より丁寧、より優しい村役場に!



自分のために
家族のために
未来を選ぶ
権利があります





投票に行きましょう

ナカソネ朝治 プロフィール

株式会社FMよみたん 代表取締役社長

黄金環株式会社 監査役

株式会社飛翔の風 取締役CCO

NPO法人いちへき786 理事長

【略歴】

昭和40年12月29日生まれ 59才。読谷村出身
古堅小(入学)、読谷小(卒業)・古堅中

1984年 県立読谷高等学校 普通科 卒業

1985年 国際観光学院 観光課 卒業

1985年 (株)トラベル翼 入社(2007年 同社 統括部長にて退職)

2007年 (株)読谷クルリゾート沖縄 入社

(2008年 同社 料飲部支配人にて退職)

2008年 (株)FMよみたん 設立 代表取締役社長 就任

2018年 読谷村商工会会長就任(2期6年)

2022年 NPO法人いちへき786 設立理事長就任

2022年 SPC(株)黄金環 創立 監査役就任

(ゆんラボ・未来館 特別目的会社)

2023年 (株)飛翔の風 創立 取締役CCO就任

(ゆんラボ・未来館 民間収益事業)

【地域づくりに関わる活動経歴】

1993年 読谷村商工会むらおこし塾3期生

2004年 古堅中学校PTA役員 就任(副会長1年、会長3年)

2008年 読谷村にFMラジオ局を立ち上げ代表取締役社長並びに放送局長就任

2010年 JICA草の根事業 東ティモールFMコモロ設立のため専門家5回渡航

2011年 にーびち映画祭を主催 実行委員長(以降第7回開催)

2014年 沖縄県共同募金会 読谷村募金委員 就任(11年)

2015年 読谷村商工会 副会長 就任(2012年より理事)

2018年 読谷村商工会 会長 就任(2024年2期6年で退任)

2019年 嘉手納読谷ライオンズクラブ 入会

2019年 公益社団法人沖縄中部法人会 理事 就任

2021年 読谷村まち・ひと・しごと創生審議会 会長 就任

2023年 JCBA日本コミュニティ放送協会 沖縄支部 副会長 就任

2024年 専門学校日経ビジネス 学校評議委員就任

2024年 読谷村商工会 監事 就任

2024年 読谷村地域振興協議会 会長 就任

2025年 JCBA日本コミュニティ放送協会 沖縄支部 会長 就任

2025年 JCBA日本コミュニティ放送協会 理事 就任

2025年 沖縄気象災害防止協議会 理事 就任

【地域づくりに関わる受賞経歴】

2010年 社団法人沖縄県PTA連合会 表彰状受賞

2018年 沖縄タイムス社 第11回タイムス地域貢献賞受賞

2019年 総務省沖縄総合通信事務所2019年度感謝状受賞

2020年 沖縄地方非常通信協議会

(国県市町村含む防災関係104団体) 表彰状受賞

2024年 琉球新報社 第46回琉球新報地域活動賞受賞

2024年 全国商工会連合会 表彰状受賞



FMよみたんを局長として牽引



放送車の前でスタッフと



読谷村商工会会長を2期6年務める

ナカソネ朝治後援会 役員一覧



会長 小平武



副会長 國吉眞哲



副会長 仲座一正



副会長 當山勝則



副会長 島袋孝子



選対本部長 國吉雅和



事務局長 大城友直



事務局次長 仲眞朝雄



会計 比嘉幸夫



幹事長 神谷嘉栄



顧問 安田慶造



顧問 阿波根直則



監事 西平朝吉

【幹事】比嘉優／松田新浩／福地敏／東江久雄／富底正得／林拓司／宮平真一／國吉大悟／友寄恵美子

投票に
行きま
しょう

ナカソネ朝治後援会

守るチカラと変える勇氣

〒904-0323

沖縄県中頭郡読谷村字高志保256-3

<https://NakasoneTomoharu.org>

※お問合せはホームページから



Instagram



@YOMITAN_NAKASONE

ホームページ

